

# リフヌア<sup>®</sup>錠を 服用される方へ

なんちせい まんせいがいそう  
リフヌア<sup>®</sup>錠は、「難治性の慢性咳嗽<sup>\*1</sup>」に使用のお薬です

<sup>\*1</sup> 病歴、生活環境、検査結果などにに基づき、考えられる原因に対する十分な治療をしてもせきが続く状態

せきは、気道内のATP<sup>\*2</sup>という物質がP2X3受容体に結合することで、受容体が開いて陽イオン(カチオン)が通過し、その刺激が神経を伝わって起きることがあります。  
リフヌア<sup>®</sup>錠は、P2X3受容体にはたらいって刺激が伝わるのを防ぐ作用があり、せきを抑えると考えられます。

<sup>\*2</sup> アデノシン三リン酸

以下のような場合は注意が必要な場合がありますので、  
医師・看護師・薬剤師に必ずお伝えください

- 以前、この薬またはスルホンアミド系薬剤(グリメピリド、トリクロルメチアジドなど)を飲んで過敏症を起こしたことがある
- 他に服用しているお薬がある
- 腎臓が悪いと言われたことがある
- 血液透析を受けている
- 妊娠中、または妊娠している可能性がある
- 授乳中である

リフヌア<sup>®</sup>錠は以下に注意して服用してください

- ✓ リフヌア<sup>®</sup>錠は1回1錠、1日2回服用します。
- ✓ 医師・看護師・薬剤師の指示に従って、毎日同じ時間帯に服用してください。
- ✓ ご自身の判断で服用をやめたり、飲む回数を減らすことは避けてください。
- ✓ 飲み忘れた時は、次の服用時間に1回分を服用してください。  
一度に2回分服用しないでください。

リフヌア<sup>®</sup>錠を服用される  
患者さん向けウェブサイト



<https://www.lyfnua.jp/> 🔍

動画「リフヌア<sup>®</sup>を  
服用されるみなさんに  
知っておいてほしいこと、  
医師に伝えてほしいこと」



<https://lyfnua.jp/contents/> 🔍

# リフヌア<sup>®</sup>錠の副作用について

リフヌア<sup>®</sup>錠を服用した際に多く現れる副作用は、「味が変わった\*3」「味がわからない」などの味覚の変化であり、P2X3受容体への作用に由来するものと考えられています

\*3 苦味、金属味、塩味など

これらの症状がひどく、つらい場合には医師・看護師・薬剤師に相談してください。



味が変わった  
味がわからない

お薬を開発する際に行われた治験では、リフヌア<sup>®</sup>錠の服用中に味覚の変化が現れた患者さんの割合は65.4% (447/683例) でした。

多くは服用を始めてから数日以内に現れました。服用中でも、あるいは服用を止めることで96.0% (429/447例) が回復したことが確認されています。

承認時評価資料: 国際共同第Ⅲ相試験 (027試験; COUGH-1)  
および海外第Ⅲ相試験 (030試験; COUGH-2)

## その他の主な副作用



吐き気がする



口の中が渴く

これらの症状以外にも気になることがありましたら、  
医師・看護師・薬剤師に相談してください。

病院・薬局名

キョーリン製薬



改訂年月: 2024.12  
ICLY0002